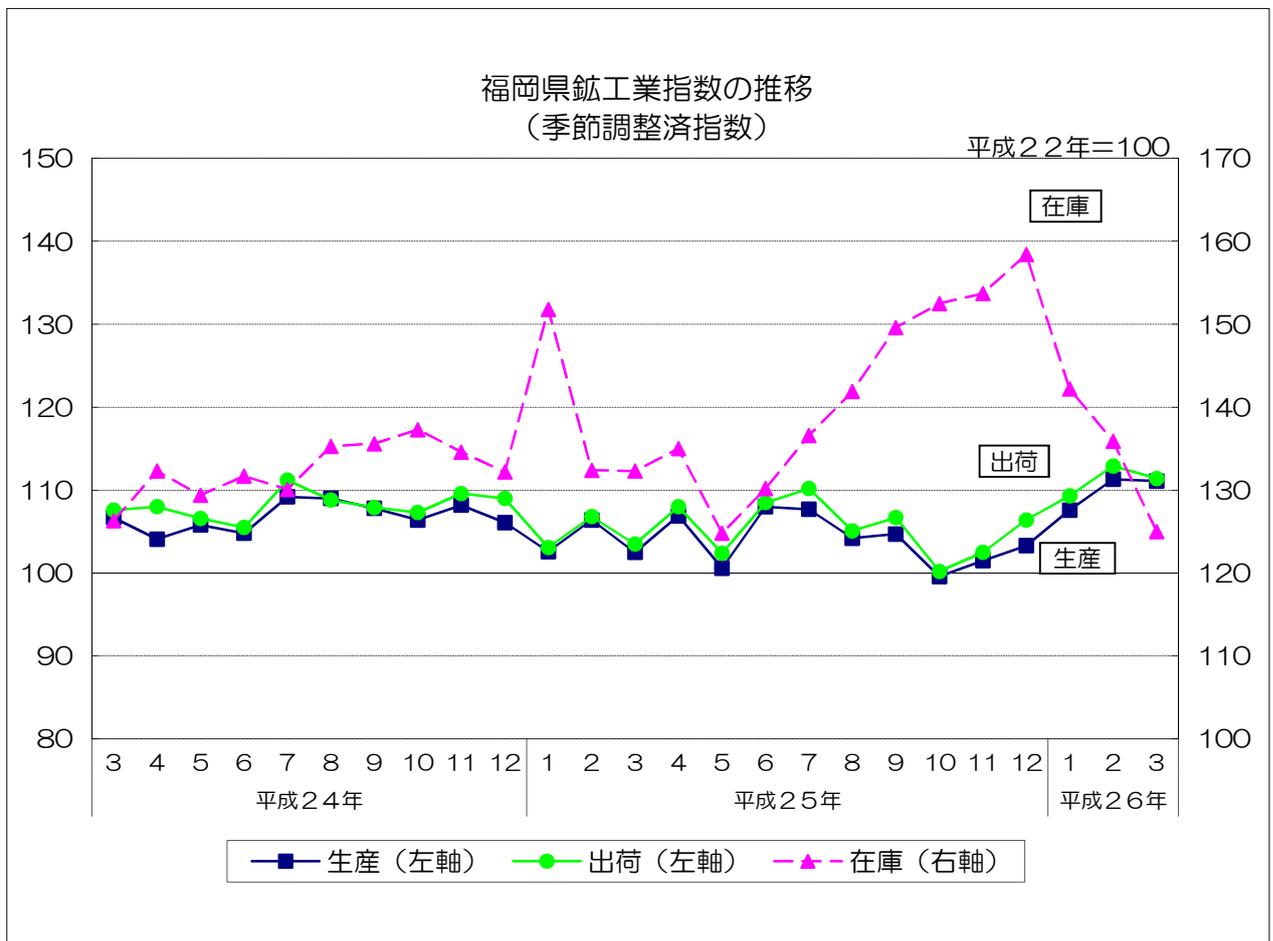


平成22年基準

福岡県鉱工業指数月報

(平成26年3月)



平成26年3月の鉱工業指数

概況

○ 平成26年3月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比0.2%低下の111.1、出荷が同1.3%低下の111.4、在庫が同8.0%低下の125.0となった。

- (1) 生産
 季節調整済指数 : 111.1 で前月比0.2%低下 (5か月ぶりの低下)
 原指数 : 115.6 で前年同月比8.4%上昇 (3か月連続の上昇)
- (2) 出荷
 季節調整済指数 : 111.4 で前月比1.3%低下 (5か月ぶりの低下)
 原指数 : 117.8 で前年同月比7.7%上昇 (3か月連続の上昇)
- (3) 在庫
 季節調整済指数 : 125.0 で前月比8.0%低下 (3か月連続の低下)
 原指数 : 116.9 で前年同月比5.6%低下 (2か月ぶりの低下)

○ 前月比（季節調整済）

	[上昇]	[横ばい]	[低下]
生産（19業種中）	: 10業種	0業種	9業種
出荷（19業種中）	: 8業種	0業種	11業種
在庫（18業種中）	: 8業種	0業種	10業種

(1) 九州・全国との比較

（平成22年=100）

		季節調整済指数		原指数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	111.1	▲ 0.2	115.6	8.4
	出荷	111.4	▲ 1.3	117.8	7.7
	在庫	125.0	▲ 8.0	116.9	▲ 5.6
九州	生産	102.3	▲ 1.6	105.8	8.0
	出荷	108.8	3.1	113.3	8.0
	在庫	111.8	▲ 0.4	109.0	▲ 1.4
全国	生産	102.2	0.7	110.0	7.4
	出荷	103.2	▲ 0.2	113.9	6.5
	在庫	105.7	1.4	98.7	▲ 1.4

(2) 前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
鉄鋼業 電子部品・デバイス工業 印刷業 木材・木製品工業 プラスチック製品工業 電気機械工業 家具工業 パルプ・紙・紙加工品工業 石炭製品工業 はん用・生産用機械工業	金属製品工業 輸送機械工業 化学工業 食料品・たばこ工業 非鉄金属工業 窯業・土石製品工業 ゴム製品工業 繊維工業 鉱業

四半期別指数の動向

平成26年 1～3月期の概況

○ 今期の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前期比8.4%上昇、出荷が同8.0%上昇、在庫が同21.1%低下となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 110.0で前期比8.4%上昇 (2期ぶりの上昇)

原指数 : 106.6で前年同期比6.1%上昇 (3期ぶりの上昇)

(2) 出荷

季節調整済指数 : 111.2で前期比8.0%上昇 (2期ぶりの上昇)

原指数 : 108.0で前年同期比6.5%上昇 (6期ぶりの上昇)

(3) 在庫

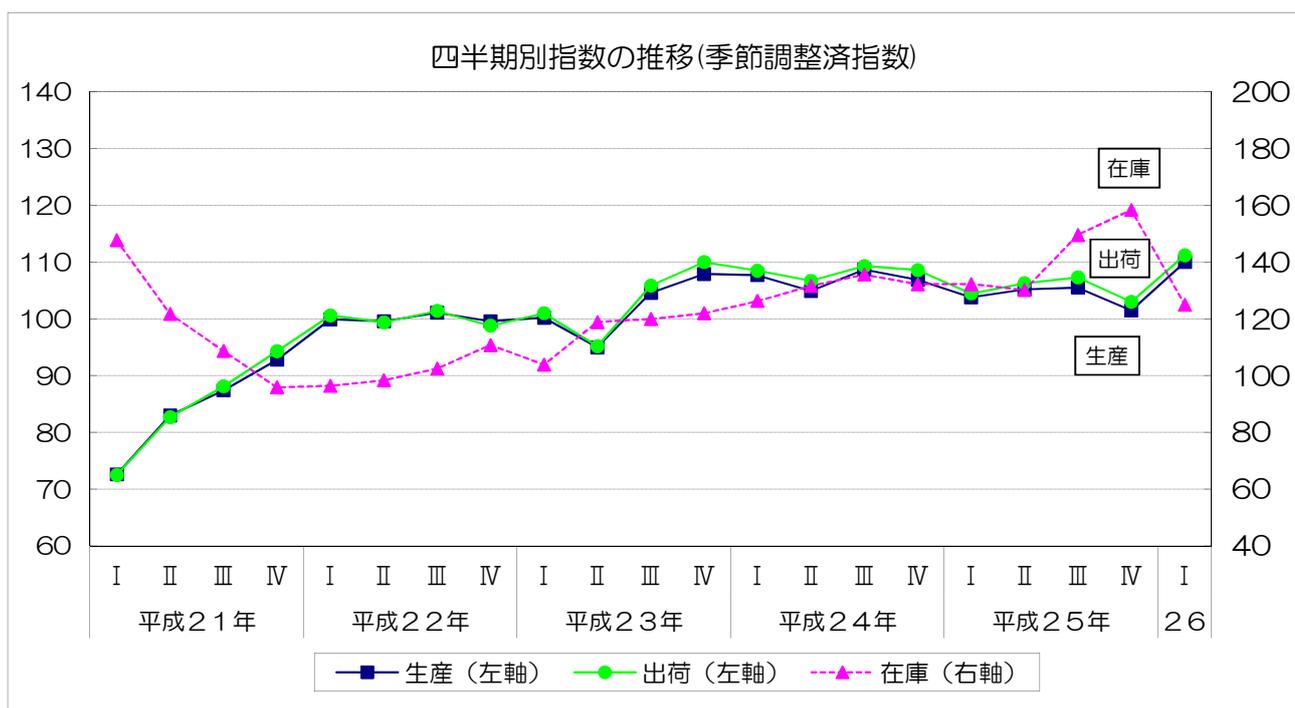
季節調整済指数 : 125.0で前期比21.1%低下 (3期ぶりの低下)

原指数 : 116.9で前年同期比5.6%低下 (3期ぶりの低下)

平成22年=100

		生産		出荷		在庫	
		季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)
25年	1～3月期	103.8	▲2.9	104.5	▲3.8	132.3	0.1
	4～6月期	105.2	1.3	106.3	1.7	130.2	▲1.6
	7～9月期	105.5	0.3	107.3	0.9	149.6	14.9
	10～12月期	101.5	▲3.8	103.0	▲4.0	158.4	5.9
26年	1～3月期	110.0	8.4	111.2	8.0	125.0	▲21.1
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
25年	1～3月期	100.5	▲5.3	101.4	▲5.5	123.8	4.7
	4～6月期	102.1	0.3	103.1	▲0.3	130.9	▲1.2
	7～9月期	108.6	▲2.2	110.2	▲1.2	151.2	10.3
	10～12月期	104.3	▲5.2	106.3	▲5.2	156.5	19.8
26年	1～3月期	106.6	6.1	108.0	6.5	116.9	▲5.6

※在庫の数値は期末値。



全業種・主要8業種の動向
(平成26年3月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は111.1(季節調整済)となり、前月と比べると、鉄鋼業、電子部品・デバイス工業などが上昇したが、金属製品工業、輸送機械工業などが低下したため、総合で前月比0.2%低下(前年同月比8.4%上昇)となった。
- (2) 出荷指数は111.4(季節調整済)となり、前月と比べると、鉄鋼業、電子部品・デバイス工業などが上昇したが、食料品・たばこ工業、輸送機械工業などが低下したため、総合で前月比1.3%低下(前年同月比7.7%上昇)となった。
- (3) 在庫指数は125.0(季節調整済)となり、前月と比べると、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業などが上昇したが、電気機械工業、鉄鋼業などが低下したため、総合で前月比8.0%低下(前年同月比5.6%低下)となった。

○ 主要8業種の動向

[生産]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	8.3	▲6.9	亜鉛めっき鋼板、鋼帯、特殊鋼冷間仕上鋼材等
金属製品	▲10.4	8.1	ガス湯沸器、粉末や金製機械材料、架線金物等
はん用・生産用機械	0.1	17.1	バブル・コック、ショベル系掘削機、ポンプ等
電子部品・デバイス	14.9	18.0	混成集積回路、トランジスタ等
輸送機械	▲0.8	13.2	四輪自動車、シャシー及び車体部品、駆動伝導及び操縦装置部品等
窯業・土石製品	▲1.9	4.3	ほうろろ鉄器等
化学	▲4.1	▲1.5	ビスフェノールA、医薬品、カーボンブラック等
食料品・たばこ	▲0.9	▲4.7	冷凍調理食品、ビール、枝肉等
総合	▲0.2	8.4	—

[出荷]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	5.2	0.0	特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼板、特殊鋼冷間仕上鋼材等
金属製品	▲7.4	14.3	飲料用缶、粉末や金製機械材料、ドラム缶等
はん用・生産用機械	▲4.0	19.1	クレーン等
電子部品・デバイス	12.0	31.4	トランジスタ、整流素子、混成集積回路等
輸送機械	▲1.5	12.3	四輪自動車、シャシー及び車体部品、駆動伝導及び操縦装置部品等
窯業・土石製品	▲0.3	▲0.3	ほうろろ鉄器等
化学	▲8.5	▲7.4	医薬品、ジフェニルメタンジイソシアネート、複合肥料等
食料品・たばこ	▲4.1	▲9.4	冷凍調理食品、枝肉、めん類等
総合	▲1.3	7.7	—

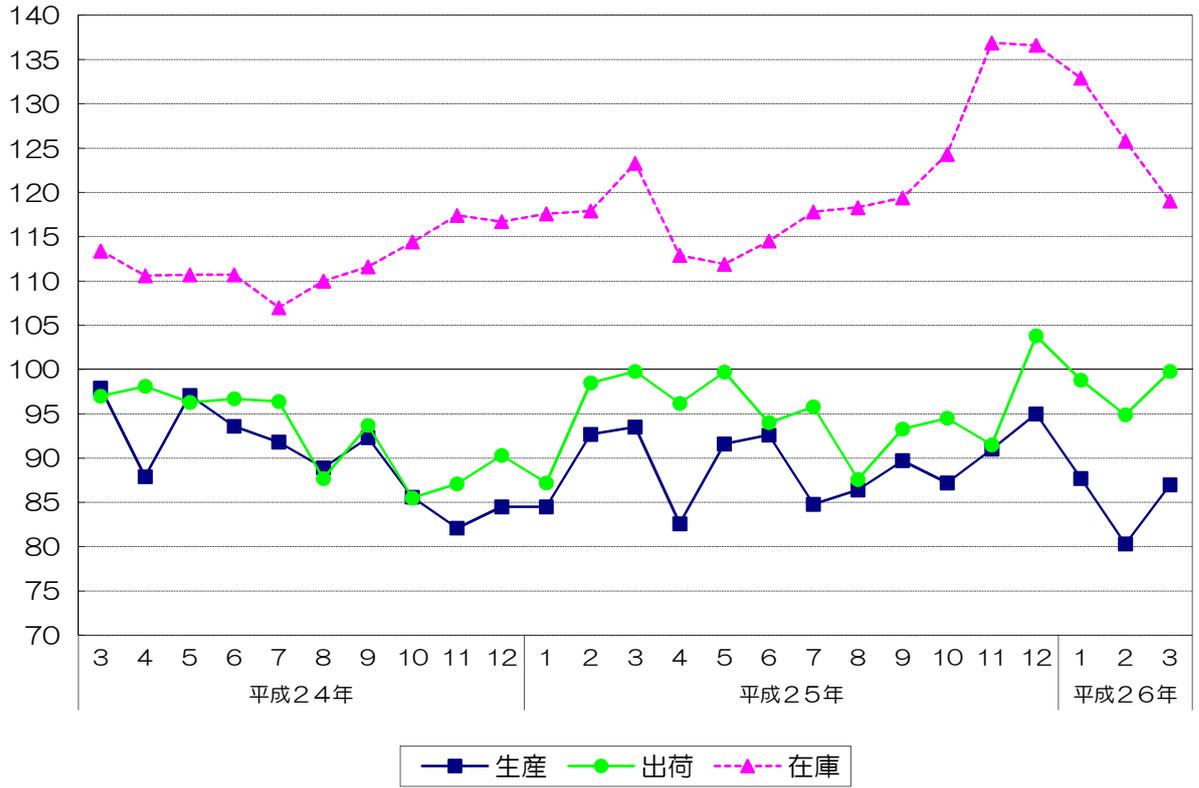
[在庫]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲5.4	▲3.5	鋼半製品、特殊鋼熱間圧延鋼材、銑鉄等
金属製品	▲6.3	▲29.4	ガス湯沸器等
はん用・生産用機械	4.4	▲25.3	ショベル系掘削機、ポンプ等
電子部品・デバイス	43.6	126.2	線形回路
輸送機械	9.3	2.2	四輪自動車等
窯業・土石製品	6.9	▲64.9	耐火れんが、セメント、遠心力鉄筋コンクリート製品等
化学	4.9	▲7.3	ポリカーボネート、クレオソート油、ナフタリン等
食料品・たばこ	▲7.8	▲13.4	ビール、発泡酒(その他雑酒含む)等
総合	▲8.0	▲5.6	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

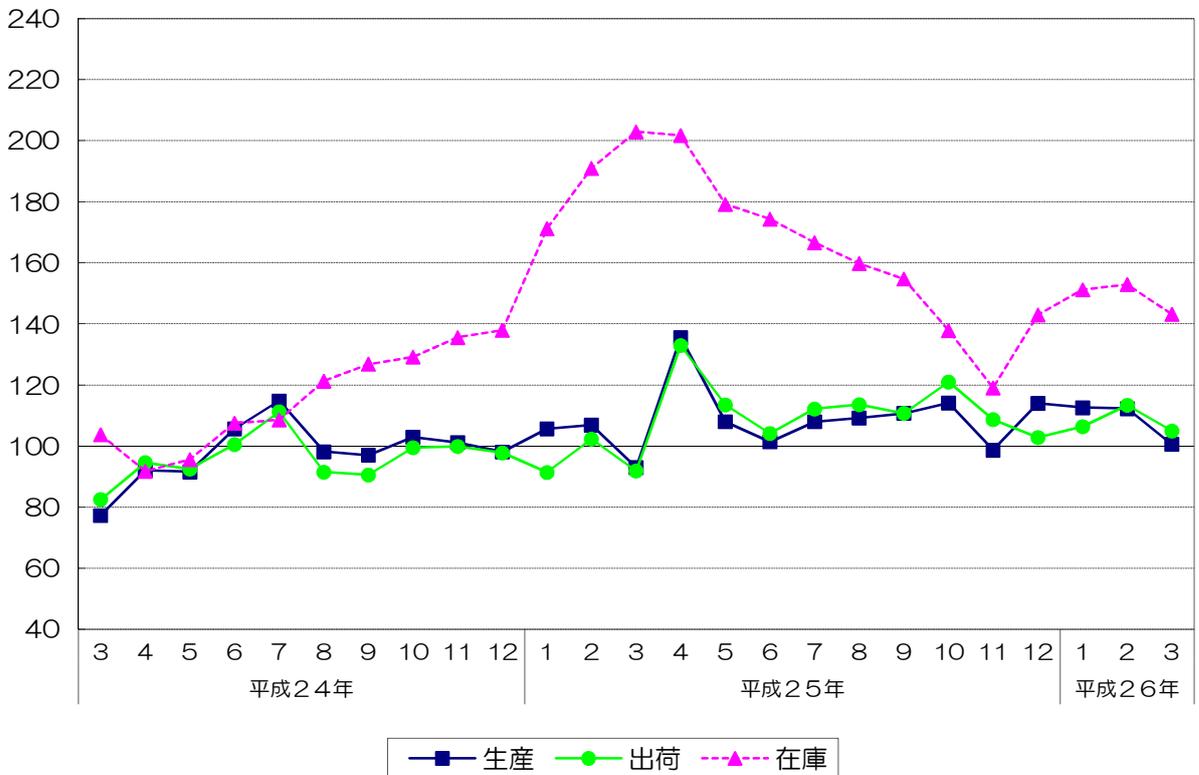
鉄鋼業 (季節調整済指数)

平成22年=100



金属製品工業 (季節調整済指数)

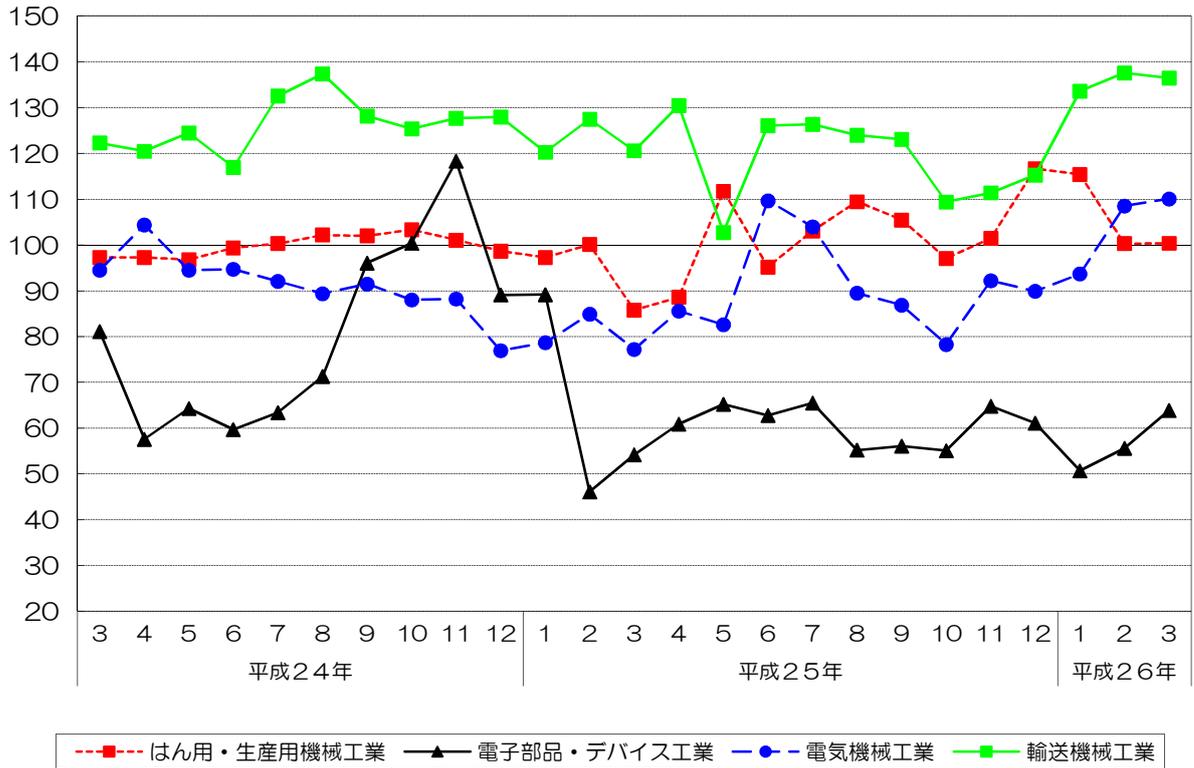
平成22年=100



機械工業（季節調整済指数）

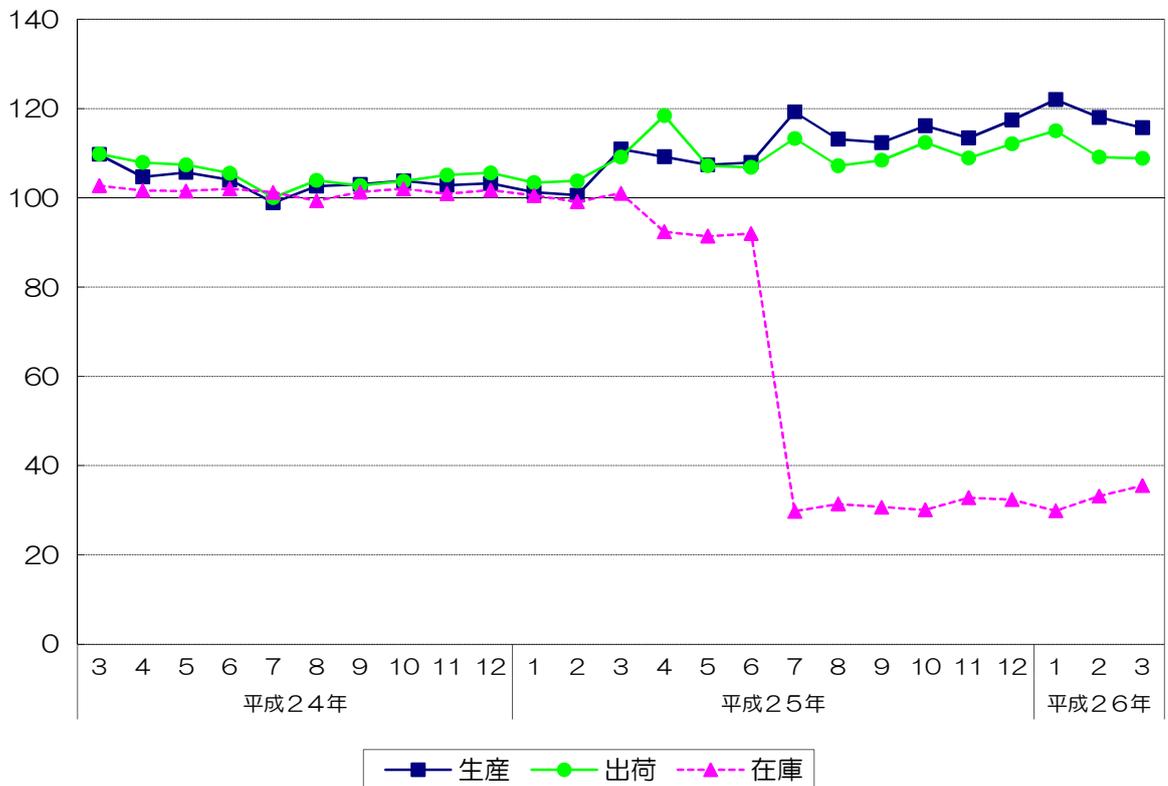
*生産指数のみ。

平成22年=100



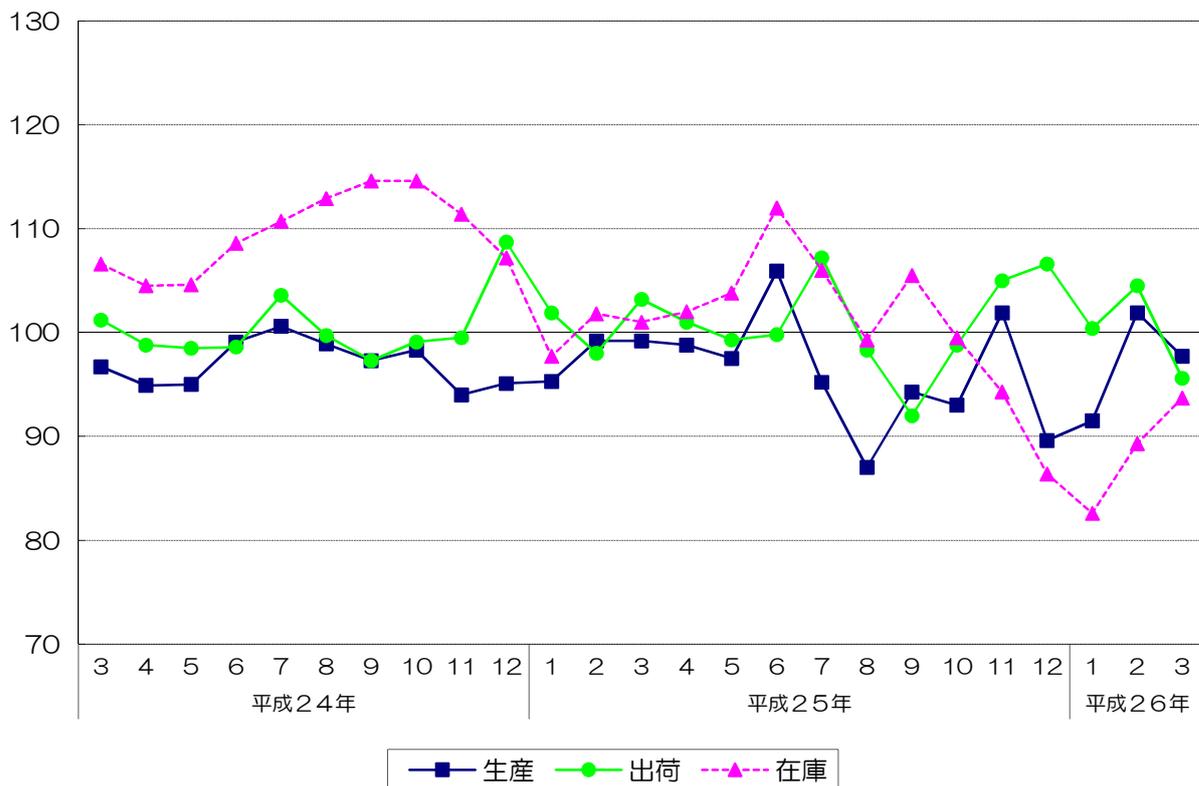
窯業・土石製品工業（季節調整済指数）

平成22年=100



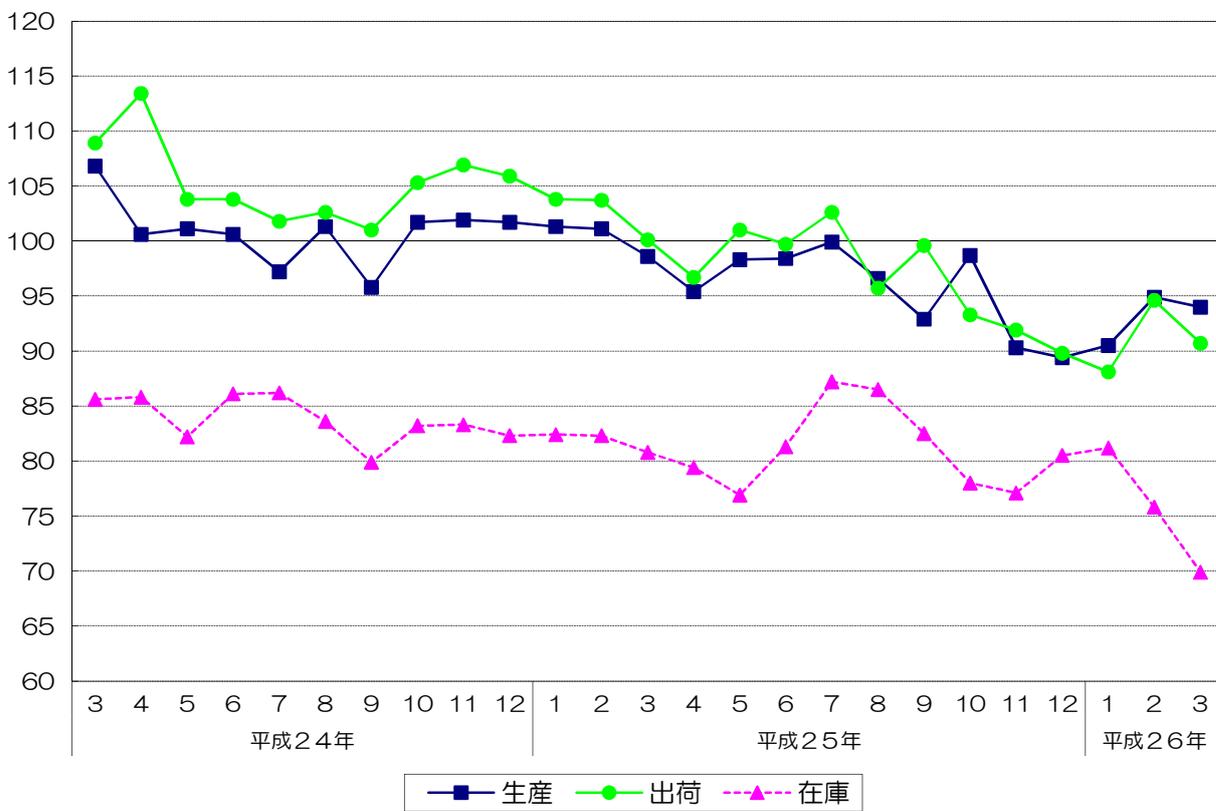
化学工業 (季節調整済指数)

平成22年=100



食品・たばこ工業 (季節調整済指数)

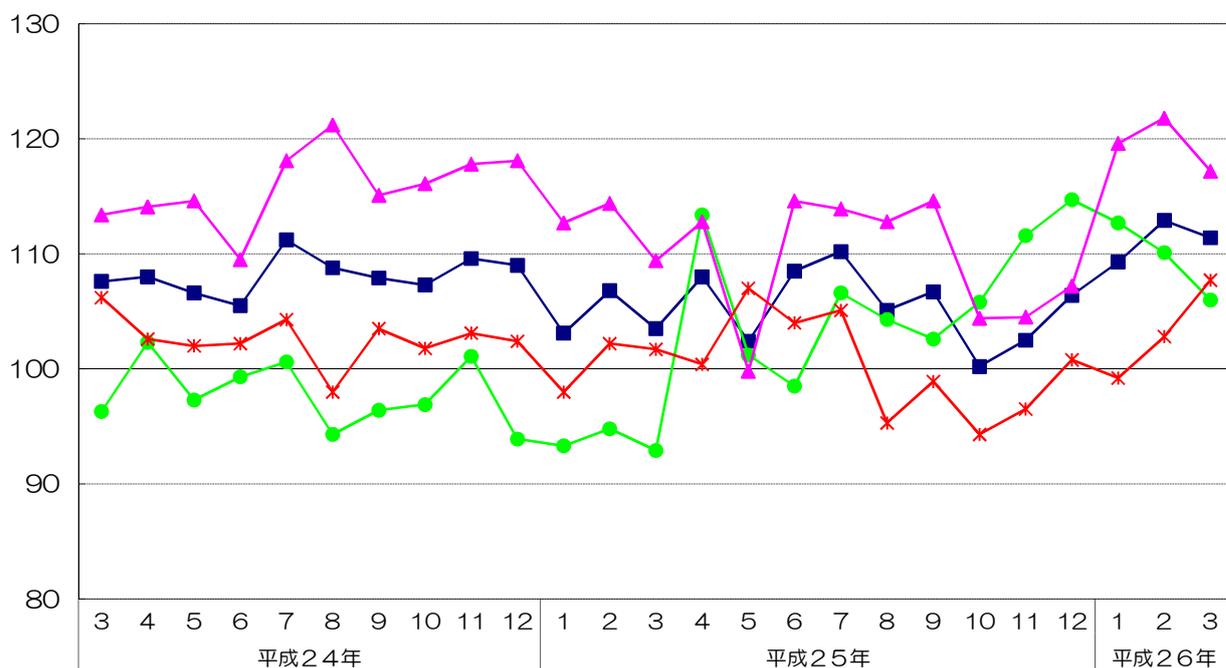
平成22年=100



福岡県鉱工業出荷指数財別の推移（季節調整済指数）

鉱工業総合

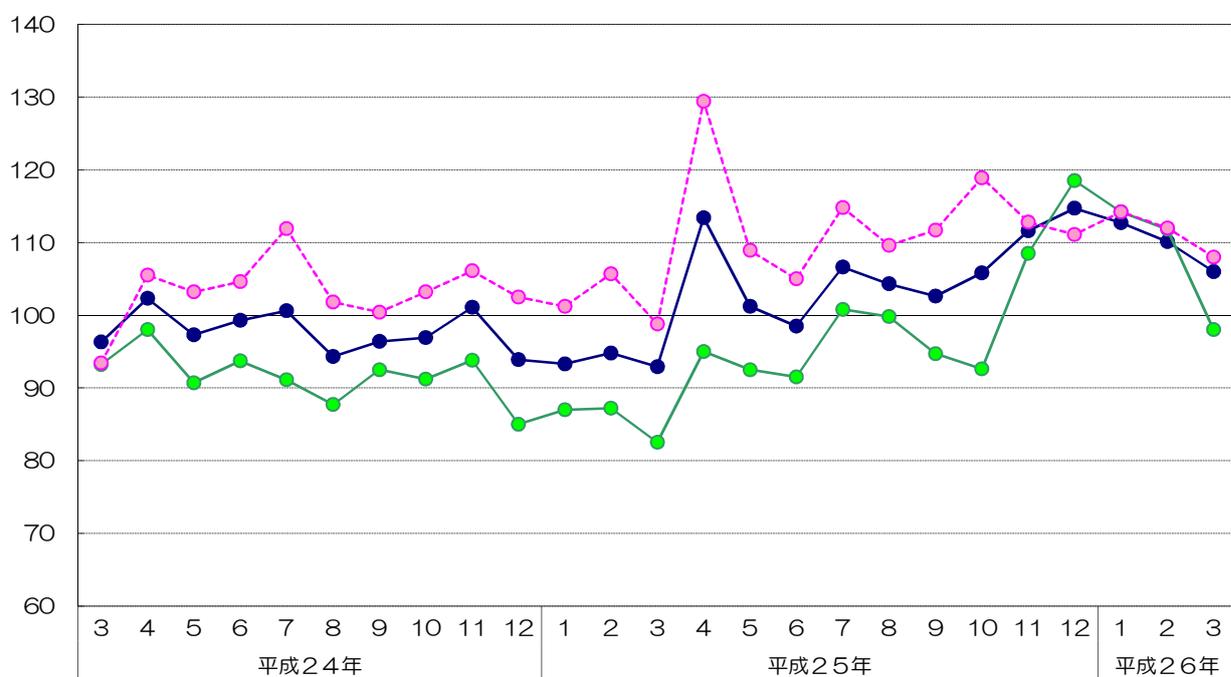
平成22年=100



■ 鉱工業総合 ● 投資財 ▲ 消費財 * 生産財

投資財

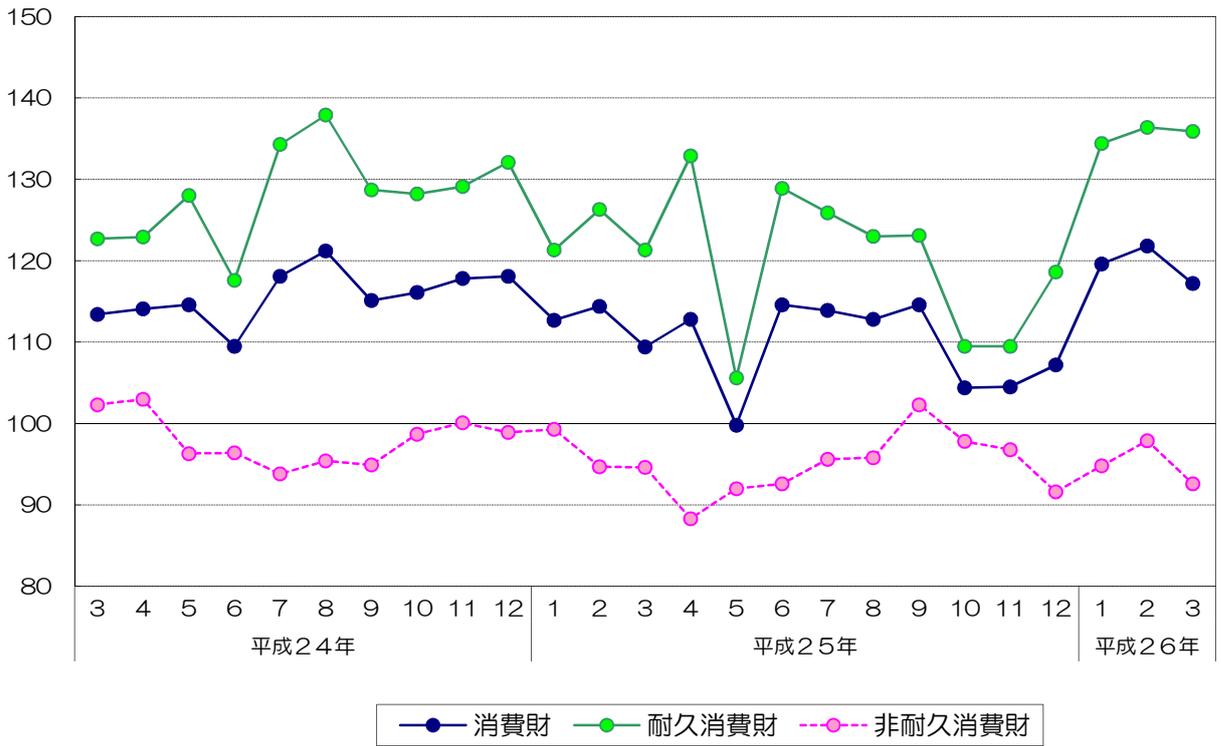
平成22年=100



● 投資財 ● 資本財 ● 建設財

消費財

平成22年=100



生産財

平成22年=100

